

新宿公民館便り

～つどい まなび つなぐ～

長南町をドライブしていると鯉幟が悠々と空を泳いでいた。江戸時代、武家は武者人形を飾り、庶民は鯉幟を立てたそうだ。子ども達には、激流に負けないで生きていけるように育てほしいとの願いだったのだろう。最近あまり見かけなくなった風景。激動の時代である今こそ、私たちはこの願いを強く持ちたいと思う。新緑に見事に映えていて、気持ちよく眺めさせてもらった。

主催事業報告

「スマホ教室 初心者向け」4/15(火)

人気のスマホ講座。1回目は、これからスマホデビューする方向けでした。電源の入れ方、音量調節、電話のかけ方、写真の撮り方、QRコードの読み取り方など、50ページのテキストを使いながら、ゆつくりと説明していただきました。特にQRコードについては、新聞の中にも何か所もついていて、その使い方を学ぶことは、より詳細な情報を得るために大切なことだと思いました。

参加者の皆さんは、おっかなびつくりの様子で、講師補助の方にも質問攻めにしながら楽しく学んでいるようでした。

アンケートの一部を紹介します。

・講師の方がわかりやすく説明していただいた。・じっくり教えていただいて、少しですがわかるようになりました。・参考になりました。早く知っておくべき事項だと思いました。・知っているつもりでしたが大変参考になりました。また講座に伺いたいです。

「スマホ教室 LINEの使い方」4/22(火)

スマホ教室の2回目は通信アプリ「LINE」についての座学です。50ページを超えるテキストを使いながら、LINEについて説明がありました。通話や画像送信、グループの作り方など、詳しく教えていただきました。私もほとんど操作できない(そもそ



【透き通る白 オダマキ】

も、自分で操作しようとしていない、他人にやってもらっている!)ので、このテキストを見ながら、もう少しサクサク操作できるようにしなければ・・・と思われました。と同時に、これから新たにLINEについて学び、操作を覚えてみようという意欲のある参加者の皆さんに感心するものでありました。お一人お一人のスマホに関する習熟度やニーズが異なるので、今回のような約2時間ほどの講習で全ての方の欲求を満たすことは難しいとは思いますが、これからはぜひ関心をもって取り組んでいただき、より上手にスマホを活用していただきたいです。

アンケートの一部を紹介します。

・ユーモアを交えて話されていたので楽しかったです。・テキストがあったので説明と合わせて理解しやすかったです。・少しだけラインがわかりましたがもっと練習したいと思いました。・超初心者向けだと思いましたが、今日の講義は十分には理解できなかった。

主催事業報告 4/16(水)

「インテリアキッチンのおすすめ」

台所、炊事場、と呼ぶことに抵抗がない私には“キッチンインテリア?”の疑問がなくもないのですが、どうも時代遅れの様です。それも、かなり。住まい方の変化により、キッチンが家の中心になりつつある中で、キッチンも含めたインテリアについてポイントやルールを知ること、より素敵な暮らしにしていきましょう・・・ということで、ショールームにお勤めだった講師の方から教えていただきました。使いやすさ、美しさ、動きやすさ、さらにはインテリアの配置や色使いなどの基本を、具体的に例示していただきました。改善のためのポイントを知るだけでも、自宅を少し変えることができるのではないのでしょうか。すると今より少し素敵な我が家になって、より豊かな生活が



改善のためのポイントを知るだけでも、自宅を少し変えることができるのではないのでしょうか。すると今より少し素敵な我が家になって、より豊かな生活が

見えてくるのでしょう。

講師の方への質問は、インテリアについての同じような悩みを持つ参加者の皆さんにとってとても有効であったようでした。

アンケートの一部を紹介します。

・専門家のお話なので大切なところのポイントが合っていて気持ちよかった。同感できることが多かった。
・レイアウトや写真など、バリエーションを見せていただきましたかった。
・今のキッチンを活かせるヒントを知りたかった。
・3がキーワード。3面白で1色、一室多灯など参考になるありがたい講座でした。
・インテリアの概念がよくわかりました。
・新しいことをたくさん知ることができました。専門的でよかったです。
・このようなインテリアの講座は初めてで今までなかったと思います。新鮮でした。
・少しずつ変えていこうと思いました。うちは色がバラバラでした。
・もうすこし写真でデザインの流行について教えていただけたら嬉しいなと思いました。
・使いやすいキッチンのサイズなど具体的な数字がわかりやすかった。
・皆様からの質問が興味深く、共感が持てました。

・・・手紙・・・

以前、私が職場でお世話になった先生が、数か月闘病されていると聞きました。定年退職後も、長年、再任用として勤務されていたので無理がたたったのでしょうか。快復を祈るばかりです。

その先生は国語の先生で、勤務先が変わった私に、よく手紙を書いて送ってくれていました。節目節目に、今必要とされる勤務努力のようなことを指摘してあったり、時には、褒めてくださったりしました。今も部屋の引き出しにしまっています。

この年齢になるまでに、私は何回、何通の手紙を書いてきたかを思うと恥ずかしいばかりです。年賀状には一言二言の現況を付け加えますが、“拝啓”とか“前略”から始まる文字を便箋にしたためて・・・は、明らかに習慣にはなっていません。前述の先生からの手紙は、達筆の筆文字でした。大切に、丁寧に読まなければならない佇まいです。

以前、年賀状の数が大幅に減っていることを書きました。数年前、中学生が、「メリクリ！（メリークリスマス）」、「ことヨロ！（ことしもヨロシク）」と普通に会話している場面がありました。携帯電話のメールに絵文字を付けて、「ことヨロ！」と送るのだとか。何ともムズムズしますね。そんなに省略しなくても・・・。そんなに急いでいるのか？・・・。昭和は、『逢えなくなつてふた月 過ぎてなおさら募る恋心』（あべ静江「水色の手紙」）との思いで手紙を書いたのです。昭和も今も一日24時間は変わらな

いのに、どうして何かと省略しながら、そんなに急いで生きているのですか、と考えてしまいます。時代が大きく変わって、現代は簡単に情報を送受信できる情報社会になってしまったのは分かります。便利であるし、無駄なく生活できるように進んできました。でも、毎日あふれるような情報があっても、私の机の引き出しにある、あの手紙にはかなわないと思っています。

こうして書いている公民館だよりは、パソコンで打っている文字です。ペンで書いてはいませんが、【お便り】として読んでいただけるとありがたいです。今日はこどもの日。子どもの成長を祝う日であり、母に感謝する日でもあるそうです。この後、この公民館だよりを長崎の母に送ります。

声に出す日本語

先日、夜にベランダに出て空を見上げると、お皿の形をしたきれいな受け月が西の空に浮かんでいました。

そこで今日は、この曲。日が沈み、家の明かりがポツポツと見え始めた初夏の夕ぐれを思い起こしながら、さあ、声に出して歌ってみましょう。

おぼろづきよ 朧月夜

菜の花はなばたけ 島に入日薄れ
見渡す山はの端 霞かすみ深し
春風そよ吹く 空を見れば
夕月かかりて 匂い淡し

里はかげわの火影も森の色も
田中こむらの小路をたどる人も
蛙かわずの鳴く音も 鐘かねの音も
さながら霞かすみめる 朧月夜おぼろづきよ

今日の公民館



【公民館もツツジが満開】

【3年目のキキョウ】



子も母も 感謝の泳ぎ 鯉幟
(新宿公民館 館長 迎 浩二)



【陽に満開のマツバギク】